

2024年4月発行 第471号

季刊春号

曙光

CONTENTS

精神疾患の話	2
院内学会	3
地域連携室だより	4
デイケアたんぽぽだより	4
OT だより	5
花見散歩	5
病院機能評価を受審して	6
新人紹介	7
趣味ステンドグラス	7



医療法人社団 緑誠会

光の丘病院



精神疾患の話 ～発達障害について～

発達障害とは、生まれつき脳の機能の発達に偏りがあり、幼い頃から症状が現れ、“育てにくい子”とされることがあります。成長するにつれて、自分自身の苦手な部分や不得意な部分に気がつき、生きにくさを感じることもあります。

コミュニケーションや他人と適切な関係を築くのが苦手な方が多く、「自分勝手な人」「困った人」「変わった人」と誤解され、敬遠されてしまうこともあります。

自閉症スペクトラム症≡広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、特定不能の広汎性発達障害、小児自閉症を含む）

コミュニケーション能力や社会性に関連する脳の領域に関係する発達障害の総称。臨機応変な対人関係が苦手で、自分の関心・やり方・ペースの維持を最優先させたいという本能的思考が強いことが特徴。障害の特性は幼少期に明らかになる事が多いが、知的発達の障害を伴わない場合や症状が軽度な場合は大人になってから診断されることもある。

特徴

- 対人交流コミュニケーションの質が偏っている
- 著しく興味が限局する、パターンの行動がある

I) 自閉症

言葉の発達の遅れ、コミュニケーションの障害、対人関係や社会性の障害、パターン化した行動やこだわりを特徴とする。

II) アスペルガー症候群

コミュニケーションの障害、対人関係や社会性の障害、パターン化した行動や興味・関心の偏りがある。言葉の発達の遅れはないため、障害が気付かれにくい。

注意欠陥性多動性障害

集中できない（不注意）、じっとして居られない（多動・多弁）、考えるよりも先に動く（衝動的な行動）を特徴とする。

学習障害

知的発達に遅れはないのに、聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなど特定の能力を学んだり、行なったりすることに著しい困難を示す。

トゥレット症候群

多種類の運動チック（突然起こる素早い運動の繰り返し）と1つ以上の音声チック（運動チックと同様の特徴を持つ発声）が1年以上続く重症なチック障害。このような運動や発声は本人の意思とは関係なく起こる。

吃音症

音の繰り返しや引き伸ばし、言葉を出せずに間が空いてしまうなど、「どもる」と言われる話し方の障害。幼児・児童期に出始める発達性吃音がほとんどで、多くは成長と共に症状が軽減するが、中には成人期まで持続する場合もある。

近年、成人してから発達障害と診断される方が増えています。幼い頃に適切な支援を受けることができず成長されてきた方も、周囲からの正しい理解や適切なサポートを受けることができれば、その方が感じてきた生きにくさは軽減され、優れた能力を発揮できる可能性もあります。また、発達障害自体は薬物療法の適応ではありませんが、衝動性や不注意等の症状は薬物療法により軽減する場合があります。



（医師：山根 美智子）

第18回院内学会 2024年3月5日(火)

今年度は、「進化・深化・真価」～地域に架ける多職種連携～をテーマとして開催されました。

口演4題が発表され、各部署における熱心な取り組みや成果に接することができました。

「進化・深化・真価」
～地域に架ける多職種連携～



最優秀賞

演題：小集団での転倒予防運動の取り組み

2病棟／佐藤 純子

病棟患者さんの高齢化に伴い転倒者が増加傾向にあったことに注目しました。転倒予防のため、生活動作に役立つ筋力や柔軟性を高める運動と、感覚維持と転倒防止に役立つ下肢筋力運動に取り組みました。患者さんのモチベーションが高く、楽しみながら参加され、これからも継続して行なえるように努めていきたいと思えます。



優秀賞

演題：精神科訪問看護実態調査 ～9年前と現在の比較～

訪問看護／中井 由紀子 藤井 陽子

9年前の当院訪問看護実態調査と現在を比較して、どのように変化しているのかを知りたいと思い取り組みました。

大きな変化としては、訪問看護を利用してくださっている61歳以上の方の割合が35%から50%へと増加している事でした。超高齢社会となり医療と介護の複合ニーズが増してくると予想されます。今後も生活やご家族、環境の変化などを把握して、意向に沿いながら柔軟に対応していきたいと思えます。



地域連携室だより ～制度紹介 医療保護入院の形が変わります～

精神科での医療や福祉に大きく関わる「精神保健福祉法」という法律があります。法改正で地域移行や権利擁護をより促進する方向性が示されています。2024年4月から、医療保護入院の形も変更されることとなりましたので、主な動きをご紹介します。

○医療保護入院の期間の法定化

医療保護入院できる期間は、最大6ヶ月以内となります。最初の6ヶ月までは3ヶ月以内の期間を定める必要があります。

(参考)入院期間の上限



○期間に達する場合は更新手続きが必要

法定の期間に達する場合でも、精神保健指定医の診察の結果、医療保護入院の必要性があると判断された場合に限り、以下の要件を満たすことで入院期間の更新ができます。

- ・退院支援委員会の開催
- ・家族等の同意を確認
- ・更新届の提出

更新手続きに該当される方は、担当の精神保健福祉士から事前にご連絡いたします。その他、制度の詳細やお問い合わせは、地域連携室までご連絡ください。

(精神保健福祉士：新田 美奈子)



デイケアたんぽぽだより ～園芸プログラム～

デイケア「園芸」プログラムでは、畑に野菜を植え、収穫・調理をメインとしていましたが、一昨年から「寄せ植え」に挑戦しています。

メンバーさんが、完成イメージや、花の色・種類等を話し合い、実際に買い物に行き、花や鉢を選びました。協力して完成した寄せ植えはどれも華やかでデイケア棟を彩ってくれています。「綺麗にできた」「楽しかった」「イメージ通りにできた」などメンバーさんからも感想を頂きました。今後も四季折々の花を使って寄せ植えを行いたいと思います。



(作業療法士：門原 舞)



OTだより ～新人OT頑張っています!～

精神科作業療法では作業を通して集団で関わる事が多いですが、認知症リハビリテーションでは、認知症の患者様と個別に関わっています。

ある患者様は、転倒する危険性が高く車椅子を利用されるようになりましたが、「また自分の足で歩きたいです。それしか考えられない。」と話されました。状態が安定し、歩行練習を開始することができ、一緒にリハビリを行っていく中で「足の不安が強かったです。大分歩けるようになりました。練習についてくれるから安心感がある。ありがとう。」と笑顔で話されました。

患者様の意思や希望を聞き、その方の大切にしていることに寄り添いながらこれからも関わっていきたいと思っています。

(作業療法士：榎原 楓)



花見散歩 2024年3月30日(土)

寒い日が続いたので桜の開花が遅れてしまいましたが、散歩当日は温かくぽかぽか日和。患者様と一緒に病院敷地内の桜を見ながら散歩をしました。

「気持ちいいね」「いい風が吹いてるね～」と皆様笑顔。

事務部長と看護部長も春うららに誘われて一緒に散歩を楽しみました♪

(作業療法士：天野 今日子)



春らしい和菓子も
提供させて
いただきました♪



当院をずっと見守ってくれた樹齢80年の桜の木にも一輪の花が咲いていました。

一週間後○○○



満開の桜が咲き誇っていました。



病院機能評価を受審して

昨年10月に日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、今年1月に無事『認定』の報告を受けました。

当院は平成15年(2003年)に初回認定を受け、以降5年毎に受審し認定を更新、今回が5回目でした。“病院機能評価”とは、病院が組織的に医療を提供する為の基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかを第三者機関が評価します。書類審査と2日間の訪問審査があり、受審するたびに評価項目はバージョンアップされており、マニュアル・種々の書類・会議や委員会の議事録・研修・カルテ等々、多岐に渡って確認と整理が必要で、職員は正直言って準備が大変です。ただ、何回も経験している私としては、訪問審査の際、しっかりやっていることはどんどんアピールし、出来ていない点や問題点は指摘・指導してもらって今後につなげていけばいいと、プラス思考で臨んでいます。

今回の機能評価受審で私が特に重要と感じた点は『説明と同意』についてです。“患者が理解できるような説明を行い、同意を得ている”という項目において、「理解すべき内容がわかりやす

く患者に説明されていること、同意を得る際には患者の意思が尊重されていること」とあり、それを確認するために「説明と同意の状況が、診療録・説明書・同意書などに記載されていること、説明後の患者・家族の反応が記載されていること」が求められています。医療現場では多くの場面で『説明と同意』が行われており、医療者側はそのことを十分理解して対応し、記録に残すことが必要であると改めて思いました。

医療機能評価を通じて、当院の強みは活かしつつ、課題については改善する努力をし、地域に根付いた、選ばれる病院を目指して今後も取り組んでまいりたいと思います。



(看護部長：佐藤 由美子)



これからも安心安全な
医療につとめていきます。
よろしくお願いいたします。



新人紹介

今回は、3名の新人さんに4点の質問をしました。

①血液型は？ ②兄弟は何人？ ③新年度 新たに始めてみたい事 ④ストレス解消法は？



こにし みえ
【2病棟】小西 美江

- ①A型
- ②5人兄弟
- ③手話を習いたい
- ④雑貨屋・パン屋巡り



つちやま きょうへい
【3病棟】土山 恭平

- ①O型
- ②3人兄弟
- ③運動不足なので、何かスポーツを始めてみたい
- ④家族と旅行



たにがわ ななみ
【4病棟】谷川 七海

- ①B型 ②8人兄弟
- ③洋裁教室
(わんこ達の服を作りたい)
- ④キャンプに行き、美味しいご飯とお酒を飲むこと!



私の趣味 ~ステンドグラス~

始めたきっかけは、「リビング」という暮らしのタウン誌の生徒募集でした。

“私でも作れるだろうか…?”と少し不安もありましたが、2ヶ月に1回のペースで市内にあるリビング社で受講しています。小物入れや壁掛け等、徐々に細かく難しい作業になっていきますが、講師の方が丁寧に教えてくださり続けられています。

太陽の光に当たるととても綺麗です。時間が経過するとハンダを付けて黒くしたところが変色し白くなってしまいますが、靴墨を塗ることで元に戻す事が出来ます。

1つの作品が完成するまでに、1時間から2時間程要します。出来上がってみると、とても綺麗で作って良かったと毎回思います。(猫好きなゆう)

ステンドグラスの作り方 (ざっくり説明 😊)

- ①色ガラス・模様の入ったガラス縁に銅テープを巻きつけて、ハンダで固定。
- ②ハンダを付けたところに、特殊な液を布に染みこませ、黒く変色させて完成。

作成中は嫌な事も忘れて作品に没頭できるので、みなさんお勧めですよ♪



外来担当医表

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	1診	院長	羽原	院長 (完全予約制)	石岡	徳岡	石岡
	2診	大加茂	藤原 (9:30から)	大加茂	藤田	山根	徳岡
	3診	藤原			山根		大加茂 (第2、第4)
午後 15:00~16:30	1診	院長	羽原	大加茂	石岡	徳岡	
	2診	児高		中田	藤田	山根	
	3診						
休診日	日曜日・祝日						

管理者 馬屋原 健

※初診の方は予約制となっております。

あらかじめ、お電話でご予約をお取りください。

※外来担当医表は 4月現在

予約や受診に関するご相談は、地域連携室まで

TEL. 084-976-1415

お問い合わせ時間：月～土 8:30～17:00(祝日は除く)

アクセスMAP



当院の理念『3C』

Comfortable Life

人々の生活の中に、安心感をもたらす医療サービスを提供する。

Counseling Mind

カウンセリング・マインドに基づいて、人々に奉仕する。

Community Network

院内により深く、そして地域社会により広く、保健、医療、文化、福祉サービスのネットワークを広げていく。

患者さまの権利

- 良質な医療を公平に受ける権利があります。
- ひとりの人間として、その人格・価値観を尊重されます。
- 病気、治療などについて、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で決定する権利があります。
- 病気の治療等について、病院外の医師からも診察や意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- 自分の病気についての情報開示を求める権利があります。
- 治療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。

編集後記

長年にわたり季刊誌“曙光”発行に携わっていた広報委員長が、3月末で定年退職されました。大変お疲れ様でした。そして、ご指導ありがとうございました。

4月からは新委員長・新メンバーで、内容もリニューアルしていきたいと思っています。今後とも季刊誌“曙光”をよろしくお願いいたします。

(広報委員：石岡、海野、田山)



医療法人社団 緑誠会

光の丘病院

〒720-1147 広島県福山市駅家町向永谷302番地
TEL.084-976-1415 FAX.084-976-0954

広島県認知症疾患医療センター
TEL.084-976-1412

ホームページでも「曙光」をご覧いただけます

光の丘病院

検索

<http://www.hikarihp.com/>